



消防団 たずね歩き

灘区 ファイア・アドベンチャー



灘区では、大震災の教訓を風化させないためにさまざまな行事のひとつとしてファイア・アドベンチャーをおこなっています。

小学4年生を対象に、命の大切さ、防災への備えの必要性と消防の仕事への理解を通じて、安全・安心な街づくりに関心を持たせようと地域・行政・消防団・消防署が協力しています。

震災体験談を聞いたり、煙や地震の振れを体験するほか、実際に消防の仕事を体験します。

ひとつめは、消防団が操作する小型動力ポンプを使った放水体験です。放水圧力が



高圧であることから安全管理のため、すべて消防団員が補助します。

続いてはレスキュー体験で、地上1.5mに張ったロープを、モンキー渡りで進んでいきます。団員は消防署員とともに、子どもたちの座席結びと、安全管理にあたります。

そして消防団の基本、ロープ結索です。何種類かの結索を子どもたちに教えていきます。

このファイア・アドベンチャーがすごいのは、千人を超える子どもたちすべてに同じように体験させることです。体験のために、小型動力ポンプを5台、水槽3基、渡るロープを3セット用意します。灘消防団は、灘消防署のパートナーとして、ファイア・アドベンチャーの重要な部分を担当し、せっかくの行事でケガ人が出ないように、またスムーズに運営ができ子どもたちの笑顔が見られるよう頑張っています。

昨年はインフルエンザの影響で中止となりましたが、今回は、子どもたちの歓声と、灘消防団員の掛け声が会場中に響き渡っていました。

(灘消防団長 伊藤眞彦)



地域に根付いた消防団を目ざしています!

～地域住民の安全・安心を確保するために～



神戸市消防局
神戸市消防団

